

# 【連載・県立高校の今】 第4回 鎌ヶ谷西高校（保育基礎コース） 国府台高校、成東高校、大多喜高校（教員基礎コース）

県教育庁企画管理部教育政策課高校改革推進室

## 1 保育基礎コースについて

保育士及び保育教諭については、令和6年度に現在より約3,500人程度多く必要と見込まれており、保育・幼児教育を担う人材の確保が急務となっている。今後も、保育基礎コース設置校の拡充などにより、保育・幼児教育分野における担い手の更なる育成が求められる。

本コースは、小学校入学前までの乳幼児に対する保育や幼児教育に興味・関心を持ち、保育士や幼稚園教諭等を目指す生徒が、その基礎的な素養を身に付けるとともに、夢や意欲、職業意識等を育むことを目的としている。

本稿では、「第1次実施プログラム」により令和6年度から本コースを設置する鎌ヶ谷西高校の取組について紹介してもらった。

設置校	設置年度	設置学科
市川南	平成31年度	普通科
四街道北	令和2年度	普通科
鎌ヶ谷西	令和6年度	普通科
土気	令和7年度	普通科

保育基礎コース設置校一覧

## 2 鎌ヶ谷西高等学校の取組

### (1)生涯学習としての保育

鎌ヶ谷西高校では令和6年度入学生から、保育基礎コースを設置する。平成30年度から、すでに「保育の学び」として保育教育に取り組んできた実績を生かし、生涯学習の視点から、より多くの生徒に保育教育に触れてもらう予定でいる。具体的には、3年次からコース設定を行い、クラスを固定せず、より多く

の希望者がコースを選択できるように計画中である（ただし、2年次の「保育基礎」履修が必須）。保育士を目指さなくとも、保育の知識と技能は、将来の家庭生活や経済生活に必ず生かされると考える。

### (2)実績のある理論と実践

本校では、2年次に「保育基礎」（2単位）を履修した生徒が、3年次に本コースを選択し、「保育実践」（3単位）、「保育課題研究」（2単位）－以上必履修－に加え、「保育表現活動」（2単位）－選択－を履修し、保育関連科目で最大9単位を学習することになる。また、授業の内外で以下のような行事や実習・体験が準備されている。

- ①保育園実習、保育園ボランティア
- ②聖徳大学、聖徳短期大学、千葉敬愛短期大学による連携授業
- ③保育技術検定の取り組み
- ④文化祭、学校説明会、地域施設・行事への出品

以上は、本校がこれまで「保育の学び」で行ってきた活動で、すでに実績があるものである。

### (3)充実した家庭生活と社会生活のために

#### ～自信を持って「未来」に進む～

本校では、本コースでの学習を通じ、社会を構成する基本単位である家庭生活の意義や次代を担う子どもを育てることの重要性と喜びを感じることができる生徒を育てていこうと考えている。



保育基礎コース紹介ポスター

### 3 教員基礎コースについて

本県の教員採用選考は、年々倍率が低下しており、令和4年度選考の実質倍率では、小学校で2.03倍、中高共通で4.23倍と全国平均（小学校2.52倍、中学校4.66倍、高等学校5.36倍）を大きく下回っている状況にある。今後も、教員基礎コース設置校の拡充などにより、更なる人材の育成が求められる。

本コースは、教育に関心を持ち、将来教員を目指す生徒が、教員としての基本的な素養を身に付けるとともに、夢や意欲、職業意識等を育むことを目的としている。

本稿では、「第1次実施プログラム」により令和6年度から本コースを設置する国府台高校、成東高校、大多喜高校の3校に、各校の取組について紹介してもらった。

設置校	設置年度	設置学科
千葉女子	平成26年度	普通科、家政科
安房		普通科
我孫子	平成30年度	普通科
君津		普通科
国府台	令和6年度	普通科
成東		普通科、理数科
大多喜		普通科

教員基礎コース設置校一覧

## 4 国府台高等学校の取組

### (1)はじめに

本校は、今年度創立80周年の節目を迎え、これまで24,000人余りの卒業生を輩出している。もともと教員を目指そうと考えている生徒が多く、毎年卒業生の何名かが、県内外の教員になっている。

これまでの取組として、平成31年度『ちばっ子「学力向上」プラン』内に位置づけられていた「お兄さん、お姉さんと学ぼう」事業を継承した学習指導体験を毎年夏季休業中に近隣の小学校で実施している。この指導体験には、毎年40名程度の生徒が参加しており、生徒には好評の行事である。体験終了後には、小学生からお礼の手紙を貰うこともあり、参加した生徒一人一人が自己肯定感を高めるとともに、教員の仕事について改めて考える場ともなっている。



小学校での学習指導体験の様子

また、10月には教職員課主催の高校生向け出前講座「せんせいっていいもんだ」が実施され、夏季休業中の学習指導体験に参加した生徒だけではなく、教職に興味を持っている多くの生徒が受講している。教職員課の職員から千葉県が求める教師像や採用までの道のりについての説明を聞くことができるだけでなく、本校の卒業生で現役の教員から実体験に基づいた話を聞くことができるため、憧れ

の職業から一步踏み込んだ職業観をもつことができる良い機会となっている。

## (2)コースの概要

教員基礎コースは、2、3年生での希望制とし、クラス編成は行わない。学習内容は現在検討しているが、既にコースをもっている学校の教育内容を参考に組み立てることとした。今ある学校の資源を有効に活用しながら、生徒が教員としての基本的な素養を身に付けるとともに、様々な教員の仕事を体験できるような仕組みを作っていきたい。

教員基礎コースでの体験や学習をとおして、教員という仕事についての理解を深めるとともに、生徒の漠然とした「夢」、「将来へのビジョン」がより明確になるような手助けをしていきたい。

## 5 成東高等学校の取組

### (1)はじめに

令和5年度に創立123年となる本校では、これまでも教職を目指す生徒が多く、現に県内各地域で多数の卒業生が教員として活躍している。

平成29年度より、学校設定教科「つくもタイム」の中の1科目「教育基礎」(2単位)において、提携協定を結んでいる大学の先生の講義を受けたり、山武市立成東小学校でのサブティーチャー実習を行ったりしている他、希望者を対象に、近隣の複数の小学校での1日教師体験の機会を設けるなど、教職志望の生徒に向けてのプログラムを実施してきた。

令和6年度に設置する教員基礎コースでは、これまでのこうした実践をさらに充実させ、教育に興味関心を持ち、進路選択の候補の一つに教員を入れる生徒が増えるよう取り組んでいく。

### (2)コースの概略

普通科、理数科どちらの生徒でも教員基礎

コースは受講可能である。また、2年次の「教育基礎」、3年次の「教師体験基礎」の両方を履修・修得した場合は、「教員基礎コース修了証」を授与する。

#### ①1年次の学習内容

希望者は、2、3年次で実施するいくつかの授業に参加できる。

- 小学校での実習
- 成東高校を卒業した現役若手教員による講演会 など

#### ②2年次の学習内容

「教育基礎」(学校設定科目、1単位)を、選択科目として設置。夏季休業中や通常の授業を行わない日を中心に行う。

- 小学校、中学校及び特別支援学校での1日または半日実習
- 県内の教育系大学と連携した授業 など

#### ③3年次の学習内容

「教師体験基礎」(学校設定科目、2単位)を、選択科目として設置。

- 千葉大学教育学部と連携した授業
- 成東小学校でのサブティーチャー実習(年間10回)
- 近隣の中学校での1日実習
- 成東高校を卒業した現役若手教員による講演会
- つくもタイム発表会 など



1日教師体験の様子(左)  
サブティーチャー実習の様子(右)

## 6 大多喜高等学校の取組

### (1)はじめに

本校では令和4年度から「教育関係職希望講座」（学校外の学修）を実施しており、令和5年度の講座修了者には「教員基礎Ⅰ」（1単位）を認定する。これは、教員（幼保も含む）を志す生徒向けに、体験的な活動を通じてその進路意識を醸成し、将来は地元に戻り、地域に貢献できる人材を育成することも目的としている。本コースのカリキュラムや運営等についてはこの講座が基盤となっており、市町村教育委員会の御理解と御協力のもと、これまで2年間の取組を通じ、地元の小学校・中学校・特別支援学校・幼稚園・保育所と連携し、充実した体験活動が実践されてきた。

この取組の特徴としては、(1)体験的な活動の重視、(2)特別支援教育の充実、(3)本校卒業生の活用が挙げられる。

### (2)体験的な活動の重視

7月と12月に体験実習を実施している。受入先は、自分の卒業した学校（含む幼保）で実習をお願いしている。実習後には、全員で「振り返り」を行い、体験を通して得られたことを他者と共有し、情報交流することで、新たな視点や考えを持つことができ、有意義な活動の一つになっている。

### (3)特別支援教育の充実

本校に配置されているスクールカウンセラーを講師に実際の障害特性について学んだり、自身が障害をもつ大学の先生の講義を聞いた。校種に関わりなく特別支援教育を理解することは大変重要であると考えている。

### (4)本校卒業生の活用

教職員課の事業である「せんせいっていいもんだ」を活用している。本校はこれまで現場で活躍する教員を数多く輩出しており、こ

の事業では、採用2～3年目の若手教員が派遣される。「教員を目指すために高校時代に努力すること」「教員としてのやりがいや喜び」など生の声を聴くことができるのは大きな魅力である。また、授業づくりコーディネーターや現場で勤務する卒業生を講師として、教材研究や授業づくり、生徒指導などのケーススタディを学ぶカリキュラムも用意している。

これらを基盤として、本コースでは「教員基礎Ⅰ」、「教員基礎Ⅱ」を設定している。本コースは、あくまでも受講希望者を対象としており、一つのクラスにまとめず、放課後や考査後の空き時間等をうまく活用して、部活動等と両立しながら受講することができる。意欲が向上して更に学びを継続もできるし、一旦変更もできる。生徒の主体的な進路決定をする上でもこの方法を採用した。

教員基礎Ⅰ（1単位）	教員基礎Ⅱ（1単位） 予定
①オリエンテーション【説明】	①オリエンテーション【説明】
②教育の魅力についてⅠ【講話】	②教育の魅力についてⅠ【講話】
③学校の日常について【講話】	③学校の日常について【講話】
④実習体験（幼保小中）【実習】	④実習体験（幼保小中）【実習】
⑤実習体験の振り返り【演習】	⑤実習体験の振り返り【演習】
⑥高大連携特別授業【講義・演習】	⑥授業づくり①【演習】
⑦実習生から学ぶ【講話・演習】	⑦授業づくり②【演習】
⑧実習体験（特別支援）【実習】	⑧実習体験（特別支援）【実習】
⑨先生っていいもんだ【講話】	⑨先生っていいもんだ【講話】
⑩実習体験（幼保小中）【実習】	⑩実習体験（幼保小中）【実習】
⑪実習体験の振り返り【演習】	⑪実習体験の振り返り【演習】
⑫1年間の振り返り【演習】	⑫授業づくり③【演習】
⑬教育の魅力についてⅡ【講話】	⑬1年間の振り返り【演習】
	⑭教育の魅力についてⅡ【講話】

各科目の計画一覧



小学校での実習体験の様子